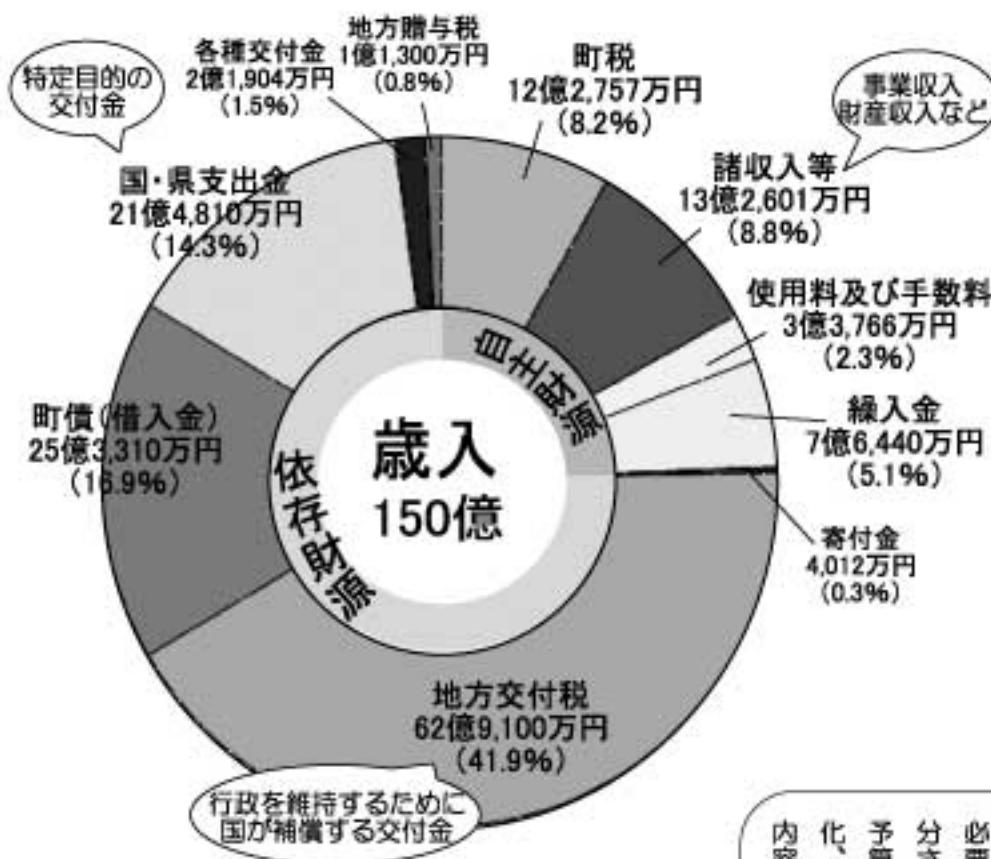


賛成多数で可決



3月定例会は、3月3日から27日まで開かれ、町長の施政方針および平成27年度当初予算など74議案が上程され、予算特別委員会等で慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では10人が登壇し、活発な議論を展開し町政を問いました。

予算審議

町は平成27年度予算の編成にあたり、町民要望の多い道路整備、定住対策、子育て支援など人口減少対策等の地方創生の推進に必要な経費に重点的に配分した予算を示しました。

議会は予算特別委員会を2日間開催し、27年度一般会計予算と14の特別会計予算を慎重に審議しました。財源が必要事業に有効に活用されているか、補助金は適正に配分されているかなど、税の公平化を視点に、提案された予算を詳細に審査しました。その結果、地域経済の活性化、福祉の充実、人口減少への対応に積極的に取り組む内容を評価し、賛成多数で可決しました。

町税の内訳

区分	予算額	構成比(%)
町民税	5億1,455万円	41.9
内訳	個人	3億9,242万円 (32.0)
	法人	1億2,213万円 (9.9)
固定資産税	5億7,041万円	46.5
軽自動車税	4,542万円	3.7
町たばこ税	5,800万円	4.7
入湯税	2,610万円	2.1
合計	12億2,757万円	100.0